

堀内賞の副賞メダル図案の公募

本年度から、これまでの「堀内基金奨励賞」が衣替えをして「堀内賞」として新しくスタートすることになりました。それに伴い、副賞としてメダルを贈呈することが決まり、ここに、メダルの図案を広く公募することになりました。下図に示されていますように、メダルは銀ブロンズ仕上げ、学会賞、藤原賞と同じ大きさのものを予定しています。学会賞のメダルには太陽と雲の図案が、藤原賞のメダルには Vortex の図案が彫り込まれており、堀内賞のメダルにも堀内剛二氏の研究にちなんだ図案のアイデアが望まれます。採用作品には薄謝を贈呈します。

応募に際しては、実物大の円形の中に白黒のコントラスト付きの図案を描き、必要な添え書きとともに、日本気象学会事務局宛（〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4気象庁内）に6月30日までに郵送のこと。

なお、参考までに、堀内剛二氏は、30年間気象庁に勤務し、1960年代には依然として未成熟の状態にあった成層圏、中間圏、熱圏の大気現象に関心を持ち、その研究の重要性を訴え続け、平成元年に永眠されました。著書に「超高層物理学」[共立出版、1966]などがあります。天気36巻328ページ（1989）に追悼文掲載。



学会賞

大きさ：直径80 mm, 材質：銅
 (太陽(賞)：金 雲：銀)
 裏：贈氏名君
 西暦年



藤原賞

大きさ：直径110 mm, 材質：銅
 (銀いぶし, 賞：金)
 咲平：銀)
 裏：藤原賞
 贈氏名君
 日本気象学会 西暦年